

検定	CLASS	項目	アコギCLASS2	合否判定	試験官
25	2-1	スケール	Gペンタトニック1種BPM=80	3回連続で運指など間違えずに弾けること、BPM80	担当講師
26	2-1	スピード	クロマチック (8分)100	3回連続で行きと帰り音が詰まらず同じ音量で同じ音価で弾けたら合格、オルタナイトピッキング BPM100	担当講師
27	2-1	コード	基本コード2種目(4和音) メジャー&マイナー	4和音の2種目のランダムな順番で講師が口頭で出題、生徒が運指などもコード表どおりに押さえていること、音の綺麗さは問わないがすべての弦が多少なりとも鳴っていること	担当講師
28	2-1	カッティング	8ビートランダム出題 1小節ループ BPM100	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン①の中から4パターン、ランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM100の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
29	2-1	アルペジオ(ピック)	8ビートランダム出題 1小節ループ BPM100	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン②の中から4パターン、ランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM100の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
30	2-1	アルペジオ(指)	8ビートランダム出題 1小節ループ BPM100	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン③の中から4パターン、ランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM100の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
31	2-1	リズム	4分の裏でクロマチック風スケール BPM70	4分の裏で単音を30秒間以上オルタナイトピッキングで弾き続ければ合格、BPM70 身体に頼らずに裏がとれるか確認するためにオルタナイトピッキングになっている。	担当講師
32	2-1	課題曲	課題曲① より1曲	別紙参照	担当講師
33	2-2	スケール	Cメジャースケール2オクターブ BPM=100	3回連続で運指など間違えずに弾けること、BPM100	担当講師
34	2-2	スピード	クロマチック (8分)110	3回連続で行きと帰り音が詰まらず同じ音量で同じ音価で弾けたら合格、オルタナイトピッキング BPM110	担当講師
35	2-2	コード	全基本コード1種類づつ 72パターン	72パターンのコードを全部押さえることができれば合格。最初に全部弾いてもらい、その後再確認するためランダムに20個のコードを口頭で出題し覚えているかを確認する。	担当講師
36	2-2	カッティング	8ビートランダム出題 1小節ループ BPM110	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン①の中から4種パターンランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM110の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
37	2-2	アルペジオ(ピック)	8ビートランダム出題 1小節ループ BPM110	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン②の中から4種パターンランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM110の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
38	2-2	アルペジオ(指)	8ビートランダム出題 1小節ループ BPM110	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン③の中から4種パターンランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM110の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
39	2-2	リズム	4分の裏でクロマチック風スケール BPM80以上	4分の裏で単音を30秒間以上オルタナイトピッキングで弾き続ければ合格、BPM80	担当講師
40	2-2	課題曲	課題曲① より1曲	別紙参照	担当講師
41	2-2	理論	指板上の4~6弦上の音階の理解	講師はギターを使ってランダムに4~6弦上を押さえ、10か所が間違えずに口頭で回答できれば合格、#、♭が付いたものを半分以上出題する。A#=B ♭などはどちらも正解とする	担当講師
42	2-2	実演	講師と1曲演奏 自由課題	最初から最後までミスせず弾けたら合格、曲の難易度は求めない、最低1分以上の曲を選択すること。ミス定義はミストーンや途中で止まるなどはミスとする。音が詰まっていたり、多少のリズムのずれなどはミスとしない。講師は生徒の演奏を録音し、講師の立場から見て合格だと判断した音源だけを事務局担当までLINEで送付。事務局でチェック後問題なければ合格、右記備考に補足説明有	事務局
43	2-3	スケール	Cペンタトニック3~13フレット BPM=110	3回連続で運指など間違えずに弾けること、BPM110	担当講師
44	2-3	スピード	クロマチック (8分)120	3回連続で行きと帰り音が詰まらず同じ音量で同じ音価で弾けたら合格、オルタナイトピッキング BPM120	担当講師
45	2-3	コード	全基本コード2種 144パターン	144パターンのコードを全部押さえることができれば合格。ただ全部弾くのは大変なのでランダムに40個のコードを口頭で出題しそれぞれ2パターンづつ覚えているかを確認する。	担当講師
46	2-3	カッティング	8ビートランダム出題 2小節ループ 4問 BPM120	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン①の中から4種パターンランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM120の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
47	2-3	アルペジオ(ピック)	8ビートランダム出題 2小節ループ 4問	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン②の中から4種パターンランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM120の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
48	2-3	アルペジオ(指)	8ビートランダム出題 1小節ループ 4問 BPM120	EX番号は事前には知らされずその日にバックギングパターン③の中から4種パターンランダムに出題される。それぞれ練習の時間が与えられ4小節(4回)BPM120の任意のスピードで間違えることなく弾けたら合格、クリックが事前に4回鳴った後に弾き始めること。	担当講師
49	2-3	課題曲	課題曲① より1曲	別紙参照	担当講師
50	2-3	課題曲	課題曲① より1曲	別紙参照	担当講師
51	2-3	理論	指板上の全音階の理解	講師が任意で選んだ指板上の音階をイタリア語表記(ドレミ...)と英語表記(CDE...)で回答する、全10問、制限時間は2分	担当講師
52	2-3	実演	講師と1曲演奏 自由課題	最初から最後までミスせず弾けたら合格、曲の難易度は求めない、最低1分以上の曲を選択すること。講師は生徒の演奏を録音し、講師の立場から見て合格だと判断した音源だけを事務局担当までLINEで送付。事務局でチェック後問題なければ合格、右記備考	事務局

【課題曲（自由選曲）】の検定の受け方

・曲はなんでも構いません。ただし今までレッスンで弾いたことのある曲は使用できません。検定8<検定16<検定24といったように難易度はあげて行ってください。

・音源に合わせて演奏してください。（音源のスピードは落とさないでください。音源は各自ご用意ください）

・イントロ、エンディングは任意ですが出来る限り演奏してください。 ・コードは各自ご用意ください。ネットで調べても構いません。 ・コードのポジションは自由です。またオンコード（分数コード）の分母の部分は省いても構いません。

6. 9. 11. 13等のテンションも省いても構いません。ただし7thだけは省かずに演奏してください。

一瞬出てくるコードなども担当の先生の判断で省くことが出来ます。わからない箇所は担当の先生にお尋ねください。

【例】C/E → C OK Cm9 → Cm7 OK C7 (b9) → C7 OK CM7 → C ×

・カポ使用はOKです。 ・ネットでコードを入手した場合、ネットの情報が間違っていることもあります。

練習していて音に違和感を感じた場合は担当の先生に確認し、担当の先生の指示に従ってください。

【課題曲①の検定の受け方】

・QRコードで読み取った課題曲①の中から1曲を選んでください。

・音源に合わせて演奏してください。（音源のスピードは落とさないでください。音源は各自ご用意ください）

・イントロ、エンディングも演奏してください。ただし中にはアレンジ上演奏が困難なイントロや間奏、エンディングもごさいます。その場合は担当の先生の許可があれば省くことが出来ます。

・コードは各自ご用意ください。ネットで調べてもらっても構いません。

・コードのポジションは自由です。またオンコード（分数コード）の分母の部分は省いても構いません。

6. 9. 11. 13等のテンションも省いても構いません。ただし7thだけは省かずに演奏してください。

一瞬出てくるコードなども担当の先生の判断で省くことが出来ます。わからない箇所は担当の先生にお尋ねください。

【例】C/E → C OK Cm9 → Cm7 OK C7 (b9) → C7 OK CM7 → C ×

・カポ使用はOKです。 ・ネットでコードを入手した場合、ネットの情報が間違っていることもあります。

練習していて音に違和感を感じた場合は担当の先生に確認し、担当の先生の指示に従ってください。

【課題曲②の検定の受け方】

・課題曲②の中から1曲を選んでください。

・カポを使用したり弾きやすいように転調したりすることはできません。

・音源に合わせて演奏してください。（音源のスピードは落とさないでください。音源は各自ご用意ください。）

・イントロ、エンディングも演奏してください。ただし中にはアレンジ上演奏が困難なイントロや間奏、エンディングもごさいます。その場合は担当の先生の許可があれば省くことが出来ます。

・コードは各自ご用意ください。ネットで調べてもらっても構いません。

・コードのポジションは自由です。課題曲①と異なりオンコードやテンションコードも省かずに演奏してください。

一瞬出てくるコードなども担当の先生の判断で省くことが出来ます。わからない箇所は担当の先生にお尋ねください。

・ネットでコードを入手した場合、ネットの情報が間違っていることもあります。

練習していて音に違和感を感じた場合は担当の先生に確認し、担当の先生の指示に従ってください。

【講師と1曲演奏】

・講師とのアンサンブルで1曲演奏すること ・メロディを講師が弾き、伴奏を生徒が弾くという形式でもいいし、市販のアンサンブルで演奏するような楽譜を購入し演奏してもOK。イントロ、エンディングまで演奏すること。

・構成を変更したり、アレンジを加えたりしてもOK、ただし生徒さんと講師が相談しながら進めること。

・スピード、キー（調）なども自由。